公益社団法人日本青年会議所　中国地区岡山ブロック協議会

2025年度　会長所信

松田　和也

【基本方針】

情熱から生まれる行動力で、希望あふれる岡山の未来を創造

【はじめに】

　岡山ブロック協議会には60年間、先輩諸氏が仲間を想い、まちを想い、地域の課題に情熱と行動力をもって取り組んできた歴史があります。61年目を迎える本年、我々はこの変革の時代に立ち向かう挑戦者として、一人ひとりが未来を夢描き、さらなる情熱と行動力で希望あふれる岡山の未来を創造する必要があります。

　我々は入会した動機や、今求めるものはひとによって同じではないかもしれません。しかし、我々は愛する岡山をより良くしたいという共通の夢を持った青年経済人であります。いつの時代も人間が夢描いた未来を実現できたのは、そこに挑戦する人の情熱があったからです。その情熱は誰かの意識を変え、感動を生み、心を動かし、共感の輪を広げて、想像が実現します。共に活動する仲間を想い、互いを高めた先にある行動力で、希望あふれる岡山の未来を創造して参りましょう。

【魅力ある人財育成の推進】

　在籍年数の短期化が進む昨今、3年未満のメンバーが半数を占めるLOMが全体の3分の1を占める状況にあります。また、青年会議所の活動に対する参画意識の低下もあり、組織力が失われつつあります。今こそ我々青年会議所の原点、伝統をしっかり学び、「共通の価値観」を持たなければ、組織ではなく群衆へと成り下がり、真に地域に求められる組織であり続ける事ができません。青年会議所の魅力の根幹は「ひと」にほかなりません。私たち一人ひとりの成長と仲間との絆は、岡山の未来を切り拓く、力強い運動・活動の原動力となります。しっかりと青年会議所の理念の浸透を図り、理念を語る人が増え、具体化できるリーダーへと成長すれば、誰もが輝き魅力ある、誇り高きJAYCEEとなり、どんな困難な状況であっても不可能を可能に変えてしまうような挑戦ができる人財となれると、私は信じています。地域を背負って立つ、魅力ある人財を育む仕組み作りを行って参ります。

【JCブランディングの推進】

　会員減少は我々の最も危惧する問題です。地域で活動するLOMにとって、同じ志を持った仲間の減少は、前年からの引き算が始まり、影響力を失ってしまいます。青年会議所全体において運動のエンジンであるLOMの弱体化は、地域の活性化に大きな影を落とす結果となるでしょう。我々はこの問題に対して全力で挑戦しなければなりません。

会員拡大の第一歩は、JAYCEEとして自らにプライドをもつことから始まります。私たちが所属する組織の運動・活動にあなたはプライドをもって取組めているでしょうか。入会の理由は人それぞれ違うかもしれません。どんな理由があろうと、その選択は尊く、正しく、最後は自ら選んだ一歩だと私は思います。私は青年会議所が様々な価値観をもった会員と議論を行ない、自らの価値観や器を広げられる唯一無二の組織だと自信をもって言えます。私たちは自らのプライドと自信をもって会員拡大に取り組み、能動的に行動を起こす人財を育成し、志を同じくする仲間を増やし、共感の輪を広げ、会員拡大の好循環を生み出す仕組みを作って参ります。

【希望あふれる岡山創造】

私たちが愛する地域の魅力にどれだけのひとが気づいているでしょうか。私たちにはこの誰よりも愛する地域の未来を輝くものにする責務があります。これまで継続して培ってきた想いと歩みを止めることなく、まちを想う機運を高め続けることで、「自分たちのまちは、自分たちでつくる」という覚悟と気概をもったひとを増やしましょう。私たちが地域の課題を考え、夢を語り共に議論し行動したその先に、地域のひとにシビックプライドを醸成する未来をつくりましょう。

そして、未来を担う子どもたちに自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心など、豊かな人間性をもち、人とつながることができる力を醸成する必要があります。ネットや SNSが身近な子供たちが、デジタルデバイスからは得られない体験や答えを、責任世代である私たちが導いていきましょう。

【結びに】

私たちが忘れてはならないのは、目まぐるしく変わる時代の中でも、ひとがいる限り、人間らしさは常に求められるということです。このような時代だからこそ、情報を常にアップデートし知識を高め、どんな困難にも打ち勝つ強い心をもち、今求められる変化に対応できる逞しいJAYCEEであるよう、積極果敢に挑戦する必要があります。

　いつの時代も生き残る者は、強い個体ではなく、賢い個体でもありません。変化に対応できる個体こそが次代を切り開くことができます。私たちは常に、変革の時代に立ち向かう挑戦者であり続け、変えたのだと誇れる希望あふれる岡山の未来を創造して参りましょう。